

Health Promoting Hospitals & health Services (HPH)

加盟 3 周年を迎えました

城北病院HPH委員会

城北病院は2015年1月にHealth Promoting Hospitals & health Services（以下HPH、健康増進活動拠点病院）世界ネットワークに加盟し、今年1月で3周年を迎えました。この間、2016年10月にHPH日本ネットワークが結成され、現在は全国で79事業所、県内では、城北病院、寺井病院、菜の花薬局、しいの木薬局の4事業所が日本HPHネットワークに加盟しています。この間のHPH活動の取り組みの一部を紹介いたします。

①2005年から健康友の会会員とともに取り組んできた「健康チャレンジ」を、最近では春、秋の年2回実施しています。ウォーキングやダイエット、歯磨きなど、個人・家族・職場単位で目標を決め延べ3000人以上が参加しています。

②職員の禁煙と腰痛対策に取り組んできました。特に禁煙対策では、患者・職員への啓蒙として禁煙キャンペーンや美化運動に取り組んでいます。その結果、他の医

療機関と比べ高かった職員の喫煙率が、徐々に低下傾向にあります。

HPHで目標とされる病院の社会的役割として、健康格差に取り組み、社会的困難な人たちが健康を享受できるように健康格差の原因の解決に取り組むことが求められています。

そこで、城北診療所内科外来通院中の322人を対象に、食生活、住居、ライフライン、人間関係など、人間らしく生活するための社会的な状況を知るためのソーシャルバイタルサイン（SVS）を活用した問診を実施しました。その結果は22.7%が独居で、社会的孤立状態が疑われる人が調査者全体の6.5%存在していました。今後は、調査対象者をさらに広げて、社会的孤立状態に置かれている方々の把握と私たちが支援できることを考えていきたいと考えています。

今年以下の5演題が表彰を受けました。参加者からは、「他職種の取り組みを聞く良い機会になった」との感想が多く寄せられました。

〔優秀演題〕

「一人ひとりに合った排便ケアを目指して
～脱3日目神話～」

南4病棟（医療療養病棟）介護福祉士
「認知症院内デイを開始して～課題と展望～」

認知症ケアチーム 介護福祉士
「憲法9条についての発表を通して」
2017年度新人事務職員

「ソーシャルワーカーからみた救急搬送の現状
～4つのないからその後の支援を考える～」
医療福祉連携相談課 医療ソーシャルワーカー

「みんなが健康に働き続けられる職場づくりを目指して
～禁煙サポートの活動を振り返る～」
保健師部

院内活動交流集会を開催しました

2017年11月8日、「院内活動交流集会」を開催しました。この取り組みは、職員研修の一環として、各部署から1年間の取り組みの成果をまとめ発表することで、相互理解を深め、職員の成長につなげるものとし、毎年11月に実施しています。今年も5会場に分かれて19演題の報告を受け、意見交換を行いました。毎年、参加者の投票と座長推薦をもとに、各会場から優秀演題を院内教育委員会で決定

しています。



院内教育委員会

私たちがめざすもの

医療福祉宣言

城北病院 城北診療所 2015

- 1 患者の立場に立ち、インフォームドコンセントを大切にします。
- 2 専門的な力量向上に努め、安全安心の医療・福祉の提供をすすめます。
- 3 すべての人々の健康づくりを支援し、安心して住み続けられるまちづくりに努めます。
- 4 人権を守り無差別・平等の医療・福祉をめざします。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://jouhoku-hosp.com
E-mail renkeisitu@jouhoku.jp



医療福祉連携相談室だより

Jou-HOKU No. 48

2018.2.15 winter



城北病院 院長 大野 健次

初心を忘れずに

～「無差別平等の医療」を推進していきたい～

寒さ厳しかった長い冬もようやく終わりに近づこうとしていますが、城北病院は現在新病棟建設の真最中です。手術室、厨房は2017年1月から稼働しています。また新西棟の半分ができ、新しい病棟として2017年12月から仮稼働しています。救急病棟や救急外来は一時的な運用でかなり使いづらいようなハードになっていますが、これも住民立である城北病院が現地建て替えを決心したからだと思っています。2020年春の本稼働まではかなり我慢の日が続くと思いますが、職員一同力を合わせて頑張る所存ですのでよろしく願いいたします。また建て替えに伴い一時的にベッド数が減少し十分な救急の対応ができずにご迷惑をおかけすることになりますがよろしくお願いいたします。

2018年度は診療報酬介護報酬の同時改定の年であり医療機関、介護施設ともに大きな変化があることと思います。政府は2025年問題に向けて医療を在宅へシフトしようとしています。また、中医協の中でも終末期についての話し合いがなされ、厚労省は「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を2018年年3月に改定しようとしています。このガイドライン自体に大きな問題があるわけではありませんが、政府が診療報酬と絡めて終末期医療に介入し医療費抑制のために使われる事には納得がいきません。

同じようにLiving Willやエンディングノートのように、最後をどうしたいのか？また元気うちに胃瘻や人工呼吸器など終末期の事を考えさせるような風潮が広まってきているように思います。エンディングノートそのものが悪いわけではありませんが、逆に胃瘻に賛成であるとか人工呼吸器についても最後までしっかり医療を受けたいといった声が出せない患者さんも存在するように思います。

今後の少子高齢化社会、多死社会を反映した病院運営が地域の方々から求められているように思います。城北病院は初心を忘れずに、「無差別平等の医療」を今後も推進していきたいと思っていますので今後ともよろしくお願いいたします。

新西棟の救急・病棟部門が稼働しました

城北病院第二期工事が無事完了しました

城北病院新病院建設委員会

新病院建設は11月末に第二期工事が完了し、無事に引き渡されました。12月14日には地域の方々向けに第二期工事完成見学会も開催し、100名を超える方々に見学いただきました。

第二期工事完成によって、新西病棟の半分が完成したことになります。現在は1階に救急部門、2階から4階は病棟として運用されています。まだ病棟が半分の状態での仮運用のため救急外来の待合室が狭い等、利用される皆様にはご不便をおかけしながら、ご理解ご協力いただいている状況です。

そんな中でも、新しい病室の療養環境の改善や、救急部門から直接新西病棟に移動できるエレベーターの設置により職員の動線が改善しました。

2月からはよいよ第三期工事が始まりました。今工事では正面玄関も取り壊されるため、病院玄関が城北診療所側となります。そのため旧西病棟にあった、受付やなんでも相談窓口、産業医療科、病児保育室は移動しています。

第三期工事が完成すると、新病棟がほぼ完成することとなり、職員一同第三期工事の終了を心待ちにしております。

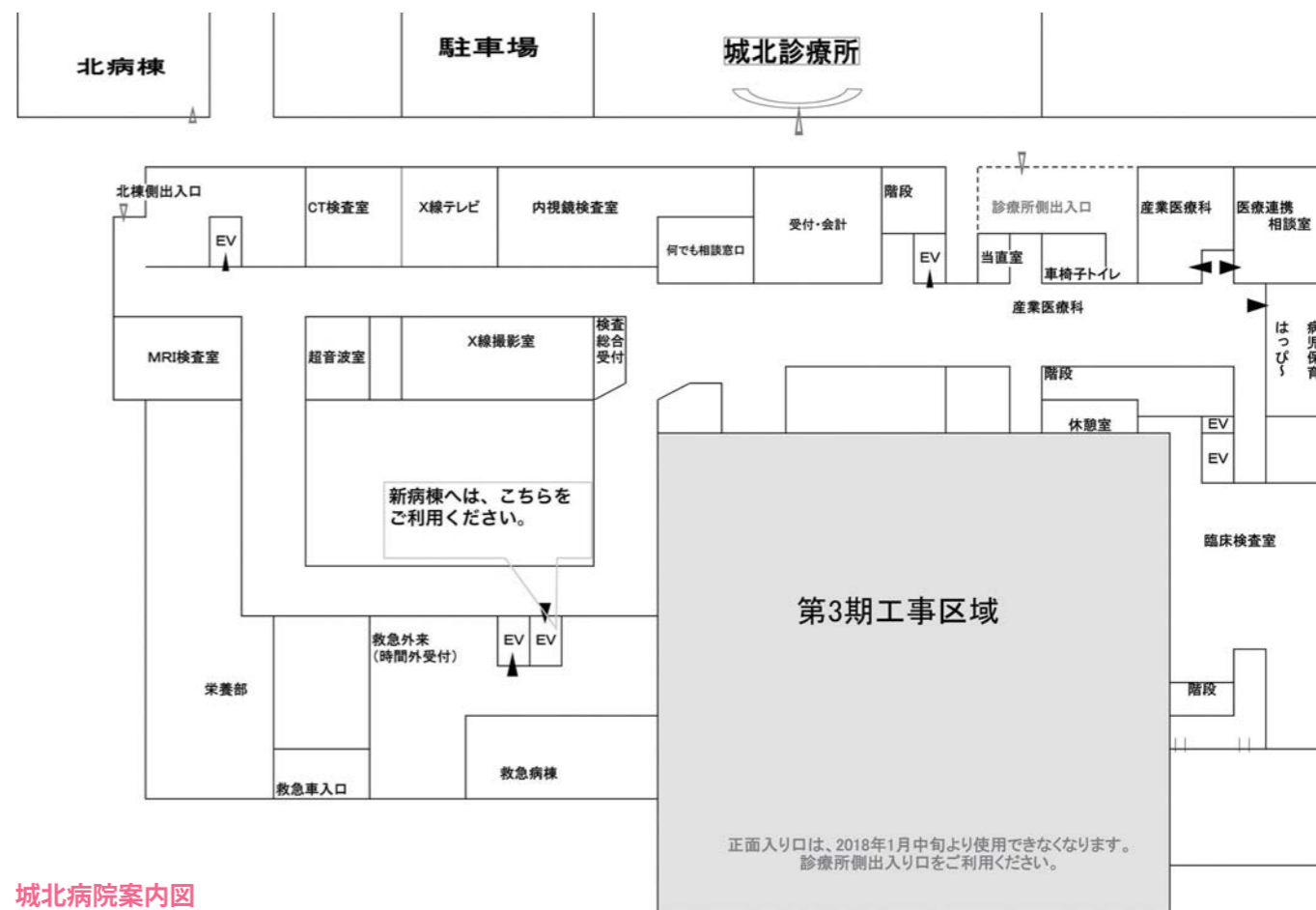
なお、第三期工事の完成は2018年12月を予定しています。引き続きご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



▲ 各階ごとに加賀五彩で色分けされています。写真は2階フロア



◀ 現東病棟と新西病棟の接続部分。完成時には東棟と西棟が廊下でつながります。



城北病院案内図